

特集 ママつながりでプチ起業 ☆ 楽しんで、輝いて、将来へ向かって・・・

10月の元気村まつりは、新しい団体の参加も多く、大盛況でした。その中でもとても賑わっていた二つのグループにお話を聞きました。

小平のお店と作家とお客さんを繋げたい——Wakatake marche の大橋さん

Wakatake marche (ワカタケ マルシェ) は、若竹幼稚園のママたちが、ハンドメイドのアクセサリ、ポーチ、キッズ物、リボンなどを持ち寄り、2017年11月にママたちの同窓会として、お店を借りて開いたのが始まり。口コミで大勢のお客さんが来てくれて大盛況だった。

一度解散したが、その後ぜひ開いてくれという要望があり再開した、小平近郊でハンドメイドの作家を募集して、メンバーは70人いる。今は年に7~8回マルシェを開催している。

主催者の大橋利香さんは、九州出身で小平に来たのは約15年前、玉川上水が大好きと話す。小学3年と6年生の女の子のお母さんで、お子さんにハンドメイドのヘアアクセサリなどを教えるところから趣味が広がり、今はリボン製作の作家。カフェ巡りが好きで、小平のおしゃれなカフェを探している。

マルシェの広報はSNSを使う、インスタのフォロワーが550人以上いる。今後も小平にこだわり、市内のお店と作家とお客さんを繋げて行きたい、と熱心にお話しされる。

マルシェの予定は、12月4日(水)に学園東町のフォットショップ・ムーピーで、12月21日(土)に武蔵小金井南口の宮地楽器ホールで行う。来年3月31日(火)にはルネこだいらでも。



花小金井を吉祥寺よりおしゃれな街にしたい——みんなデパートの川里さん

「みんなデパート」は、ママたちの作るプリザードフラワーやビーズのアクセサリなどの雑貨を、ワンデーショップで販売していた川里富美さんと森楓さんが、3年前に立ち上げた。

2017年の秋に東部公園で第1回目の「みんなデパート」を開催した。地域のお店も含め約60店が出店して、4千人以上のお客さんが来た。それから春と秋に東部公園で開いている。「みんなデパート」の意味は、「minna de part」つまりそれぞれがパートをもって頑張るということ。

川里さんは、ネイリスト、広告デザイナーなどを経て17年前に結婚で小平に住まわれた。PTA会長や小平市男女参画審議委員などを歴任し、今年4月の選挙で市議に当選。高校生の男の子のお母さん。趣味はドライブで、夢は富士山と海が見える所に家を建て、ビューティサロンを開くこと。

花小金井を吉祥寺より有名にするため「HANACO」(ハナコ)ブランドを作りたい、地元小平で多くのママたちと繋がりたい、と楽しそうに話されていた。



(文責 由井)